



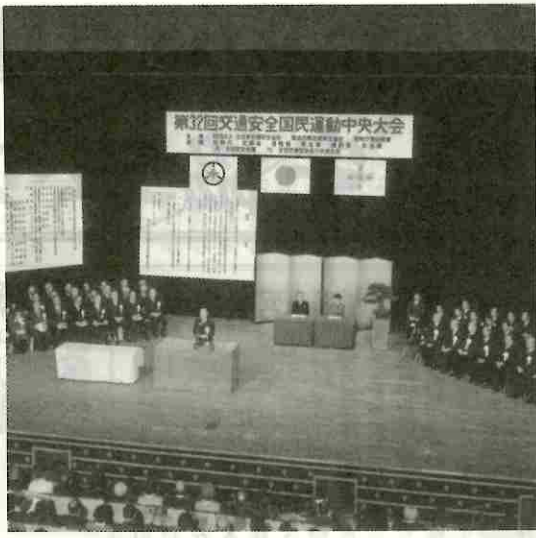


# 交通事故防止の誓い新たに

恒例の「第三十二回交通安全全国国民運動中央大会」が去る一月二十日、二十一日の両日、東京・日比谷公会堂等で開かれました。大会は、全日本交通安全協会と都道府県交通安全協会の主催、総務庁、文部省、運輸省等六省庁二団体の後援を得て、警察庁の委託事業として実施しているもので、昭和三十六年に第一回大会が開催されて以来、今年で三十二回目を迎えました。

## 第32回交通安全全国国民運動中央大会

〔分科集会〕  
一月二十日の一日目は、全国各地で交通事故防止活動を推進している約六百人が出席し、地域、企業、婦



### 常陸宮殿下お言葉

交通事故は、昭和四十五年にピークを記録して以来、国を挙げての努力により、毎年減少してまいりましたが、数年前から再び増加し、その死者は四年連続して一万人を超えました。

この時に当たり、第三十二回交通安全全国国民運動中央大会が開催され、全国各地で安全運動に尽力されている皆さんが一堂に集まり、豊富な知識と経験を交流して、効果的な諸方針等を協議されまことは、まことに意義深いことと思えます。

ことに、本日受賞された方々をはじめ関係者の地道な努力に対し、深く謝意を表します。

交通事故は、何の予告もなく発生し、一瞬のうちに家庭の幸福を奪い、職場に大きな損害をもたらす悲惨なものであり、とくに最近、若者の暴走事故が目立ち、高齢者の被害が増加していることは、大変残念に思えます。事故に遭われた方々は誠にお気の毒であり、心から同情します。

ここに改めて生命の尊さを心に刻み、運転者も歩行者もお年寄りから子どもまで、ひとりひとりが、互いにおもいやり、助け合う気持ちを強め、協力して幅広い交通安全運動をねばり強く推進するよう望んでやみません。

## 宣言

交通事故は、昨年も増勢が衰えず、死者数は四年連続して一万人を上回った。

ここに、第三十二回交通安全全国国民運動中央大会を開催するに当たり、生命の尊さと事態の重大性を深く認識し、安全で秩序正しい交通社会を確立するため、関係機関、団体をはじめ、交通に参加する全ての人々と協力し、全国の職場、学校、家庭、地域において、次の諸対策を強力に推進することを誓う。

一、歩行者、自転車、とくに高齢者と子どもの交通事故防止  
二、シートベルト、ヘルメットの正しい着用の普及  
三、運転者、とくに若年運転者に対する交通安全教育  
四、違法駐車等の抑止  
右 宣言する。

平成四年一月二十一日  
第三十二回交通安全全国国民運動中央大会

〔中央大会本会議〕  
一月二十一日の二日目は、日比谷公会堂に常陸宮・同妃西宮殿下のご臨席を仰ぎ、宮澤喜一内閣総理大臣、衆参両院議長等の来賓をはじめ受賞者、前日の分科集会出席者等二百余人が出席して中央大会本会議が開かれました。

本会議は、川上裕之氏(元NHKアナウンサー)の司会で始まり、国歌斉唱、交通事故犠牲者に対する黙祷のあと、平岩会長からのあいさつがあり、前日の分科集会で討議された平成四年中の交通安全実行方策について各部会長から報告されました。次いで、これらの議長報告に基づいて作成

された大会宣言(別項)が満場一致で採択されました。このあと表彰式に移り、交通安全賞章・緑十字金章、同銀章の授与、交通安全年間スローガン最優秀入選者に対する総務大臣賞の授与、交通安全作文「我が家の交通安全」最優秀入選者に対する交通安全賞の授与が行われました。なお、緑十字金章、同銀章の受賞者婦人に、全日本交通安全協会

会長の感謝状が贈られました。次いで常陸宮殿下のお言葉(別掲)のあと、宮澤喜一内閣総理大臣、桜内義雄衆院議長、長田裕二参院議長、塩川正太郎国務大臣、国家公安委員長から祝辞があり、受賞者代表からのお礼の言葉があり、大会を閉じました。

本県関係の受賞者は次のとおりです。



奥石政雄氏



松田良一氏



小松雅三氏

## 交通安全賞章に輝く人びと

○奥石政雄氏  
奥石さんは、昭和二十七年山梨県安協支部評議員、同四十四年山梨県協理、同五十八年同会長、同六十二年同協理、平成二年同協理に就任し、現在に至っています。三十九年余の

永い間、交通安全活動の推進と安全意識の向上のために献身的に尽力したおかげで、交通安全賞章を受章しました。金章は、交通安全の表彰で最高級の栄誉であり、交通安全功労者として本県では十五人目の受

章です。また、昭和三十九年中央大会の席上、内助の功により平岩会長から感謝状を贈られました。

○大柴武夫氏  
大柴さんは、昭和二十七年から乗合バスの運転者として三十九年の永い間、よく交通安全を遵守し、無事故、無違反運転を続け、職

業運転者として、同僚及び一般ドライバーに範を示し、安全運転の推進に多大の功績が認められ、金章を受章しました。金章は優良運転者として本県では十四人目、妻子夫人にも内助の功により平岩会長から感謝状を贈られました。

○松田良一氏  
松田さんは、昭和二十九年山梨県協理に就任し、現在に至っています。三十七年の永い間、地域における交通安全活動を積極的に推進し、交通安全防止に多大の貢献をなした。また小笠原安協の会長として会の育成発展に尽力する等交通安全の推進に努められた功績が認められ、今回の受章となりました。

○小松雅三氏  
小松さんは、昭和三十年相互タクシーに入社以来、

また、昭和三十九年中央大会の席上、内助の功により平岩会長から感謝状を贈られました。

○大柴武夫氏  
大柴さんは、昭和二十七年から乗合バスの運転者として三十九年の永い間、よく交通安全を遵守し、無事故、無違反運転を続け、職

業運転者として、同僚及び一般ドライバーに範を示し、安全運転の推進に多大の功績が認められ、金章を受章しました。金章は優良運転者として本県では十四人目、妻子夫人にも内助の功により平岩会長から感謝状を贈られました。

○松田良一氏  
松田さんは、昭和二十九年山梨県協理に就任し、現在に至っています。三十七年の永い間、地域における交通安全活動を積極的に推進し、交通安全防止に多大の貢献をなした。また小笠原安協の会長として会の育成発展に尽力する等交通安全の推進に努められた功績が認められ、今回の受章となりました。

○小松雅三氏  
小松さんは、昭和三十年相互タクシーに入社以来、

## 交通安全運動基本要綱

現下の厳しい交通情勢を踏まえ、人命尊重の基本理念にたつて県民一人ひとりに交通安全知識を普及し、交通安全思想の高揚を図るとともに、正しい交通ルールと交通マナーを実践づけることを目的として、県交通安全対策本部と県交通安全推進協議会は、平成四年度の交通安全運動基本要綱を定めて効果的な運動を実施することとしました。その主な内容は次のとおりです。

◇交通安全スローガン  
ふれあい  
ゆとりでつなごう

◇交通安全は家庭と職場と地域から  
一、交通安全の重点目標  
一、シートベルトの着用徹底  
二、高齢者と子どもの交通事故防止

一、運動席からの証言  
一、事故の心理的背景を探る  
16ミリ、カラー、27分  
運転者向け  
死亡事故原因で常に上位

この映画は若いドライバーが陥りやすい危険な運転行動をとりやすい、これらの危険を回避するためのキーポイント(満点運転)を解説しています。

三、ミラクル太郎の自転車安全教育  
16ミリ、カラー、15分  
子ども向け  
本やテレビで人気抜群の少年アジヤとその仲間たちが全員が大活躍のこの映画は、自転車ふたり乗りや、道路へのとび出しの危険性、横断歩道の正しいわたり方など、小さい頃から身につけなければならぬ交通安全の重要性を楽しく理解し易く学べるように作られました。

## 映画紹介

三、違法駐車等の締め出し  
四、若者による無謀運転及び暴走族の追放  
五、飲酒運転の絶滅  
六、道路交通環境の整備  
◇運動の名称と実施期間

運動の名称	実施期間
春の全国交通安全運動	3月10日～3月15日
春の連休時における交通安全対策	3月16日～3月20日
夏の交通安全防止国民運動	7月10日～7月15日
高年齢者交通安全運動	9月10日～9月15日
秋の全国交通安全運動	10月10日～10月15日
年末年始の交通安全防止国民運動	12月10日～12月15日
着用徹底国民運動	1月10日～1月15日
交通安全一市町村一運動	3月31日



# 死者10年連続100人越える

## —若者と高齢者で過半数—

### 平成三年中の交通事故

全国の交通事故 警察庁がまとめた平成三年中の交通事故は、発生六十六万二千三百八十八件（前年対比一万九千二百九十一件、三・五％増）死者数一



は、四年連続して一万人を突破しました。自動車乗車中と歩行中の死者が増える。自動車乗車中の死者数が四千六百七十五人と最も多く、全死者数の四一・一％を占めています。前年と比較すると、自動車乗車中の死者が百七十四人（三・九％）増、歩行中が百三十六人（四・五％）増で、一方自二、原付、自転車乗車中はいずれも減少しています。シートベルト非着用死者が増える。シートベルト非着用死者が七六・五％を占めています。前年と比較すると、着用して死亡した人は百四人（九・七％）減少しているのに対し、非着用死者は三十一人（九・二％）増と大幅に増加しています。

◆運転者の高齢化が進み 運転中の死者も上昇 ◆若者は自動車乗車中の死者数が増加 ◆夜間の事故死者増加 ◆週末に多発 ◆本県の交通事故は、発生五千五百一十一件（前年対比四件、〇・一％増）死者百三十四人（前年対比十一人、九・二％増）傷者六千九百三十七人（前年対比百六十七人、二・五％増）で、交通死亡事故は昭和五十七年以降十年連続して百人を突破しています。人口十万人当たりの死者は、十五・二四人で、全国平均八・八八人を大幅に上回り全国ワースト第三位という残念な結果になっています。シートベルトの着用状況をみると、死者の着用義務違反者七十八人中着用者は十一人（一四・七％）、着用してはなかったと思われる者六十七人（救済率四八・四％）という低調な着用状況であります。

◆交通死亡事故の特徴 ◆休日と週末に多発、一日の時間帯では、昼間の稼働時間と夜にかけて多発 ◆中央道で十六件二十一人と前年より三件八人の大幅な増加 ◆酒酔い・最高速度違反・信号無視等無謀運転による事故が相次ぎ、死者百三十四人中約四割はシートベルト着用によって命を救うことができたのではないかと推定されています。シートベルトについては、安協ニュース第93号、第94号でお知らせとお願いをしたところですが、着用率は年々低下しており、これを憂慮し、国では、シートベルト着用推進協議会を組織し、平成四年春の全国交通安全運動に合わせ、

### シートベルト着用推進キャンペーンクイズ!

平成三年中の交通事故のうち、特に自動車乗車中の死者が全国では全死者の約四割を超え、そのうち、シートベルト非着用者が約八割にもなっています。このうち約四割はシートベルト着用によって命を救うことができたのではないかと推定されています。シートベルトについては、安協ニュース第93号、第94号でお知らせとお願いをしたところですが、着用率は年々低下しており、これを憂慮し、国では、シートベルト着用推進協議会を組織し、平成四年春の全国交通安全運動に合わせ、

クブレイヤー 二〇名  
Cコース パーソナルカラーテレビ 三〇名  
応募方法  
官製はがきに、希望の賞品コース名、クイズの答え、あなたの住所、氏名、年齢、性別、電話番号、職業を明記のうえ  
〒一〇六  
東京都港区西麻布三二二四―二〇交通安全教育センター内財団法人交通安全教育普及協会「シートベルト着用推進キャンペーンクイズ」A係  
まで、お送りください。  
応募締切  
平成四年四月三十日（木）（当日消印有効）  
※ 当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

「えっ何だっ、交通事故。父の大きな驚きの声が、真っ暗な夜の中に響いて、私は目を覚ました。目をこすりながら起きあがり、部屋の明かりをつけた時、母も心配そうに受話器によりそい、耳を傾けているのを見て、はじめて「交通事故」という言葉がはつきりと脳裏に浮かんだのです。私の心臓は急に、ドキン、ドキンと音をたて、「命に別じょうはないのか」「意識はあるのか」という父の声と、大好きなこのやさしい笑顔が、やり場のない焦燥感とともに、走馬燈のように胸のおくを駆けめぐったのです。それは、あまりにも突然の事故でした。中学、高校時代と野球部で活躍し、人一倍大きな体と、運動神経を持ち合わせた彼でさえ、スピードを出し、信号を無視した若者の車の前では、全くの無力な一人の人間にすぎなかった

「えっ何だっ、交通事故。父の大きな驚きの声が、真っ暗な夜の中に響いて、私は目を覚ました。目をこすりながら起きあがり、部屋の明かりをつけた時、母も心配そうに受話器によりそい、耳を傾けているのを見て、はじめて「交通事故」という言葉がはつきりと脳裏に浮かんだのです。私の心臓は急に、ドキン、ドキンと音をたて、「命に別じょうはないのか」「意識はあるのか」という父の声と、大好きなこのやさしい笑顔が、やり場のない焦燥感とともに、走馬燈のように胸のおくを駆けめぐったのです。それは、あまりにも突然の事故でした。中学、高校時代と野球部で活躍し、人一倍大きな体と、運動神経を持ち合わせた彼でさえ、スピードを出し、信号を無視した若者の車の前では、全くの無力な一人の人間にすぎなかった

### 若者が作る交通事故ゼロの日を

泉中二年 浅川 浩子



謀な運転がひきおこす不幸な事故は、年々増加の一途をたどっています。私の住む大泉も、ここ数年、リソット開発が進み近年目立って交通量が増加し、救急車やパトカーのサイレンの音は珍しくなくなってきました。登下校中にも、大きな音をたて、自分一人の道路のように猛スピードで走り抜

もよだつような暴走行為がくり返されています。例えば、道路をレース場がわりしてスピードを競い合ったり、急なカーブでブレーキをふんで車が回転するのを楽しんでいたり、と恐ろしいことに、それを見物する人までいるそうです。そして参加している若者達全員が、そうした行為を「かっこいい」と、とら

て若者達を刺激しているのではありませんか。第二に、家庭の態度と地域社会の甘さです。ねだられれば、たやすくオートバイを買いたたえる親。ただ買いたたえるだけで、厳しさを忘れている家庭の態度。そして、無謀な暴走行為をみて、面と向かって言えず、見て見ぬふりをする大人達にも大きな問題がある

ではないでしょうか。第三は、学校とか友達です。受験、受験と偏重し、しか人間の価値を評価しない教育。その結果、ついでにいけば、欲求不満、欲求不満のはけ口として、スピードと暴走に向かっている気がしません。逃げた気がありません。また、友人の悪を見て見ぬふりをする私達自身も、自分のなさに原因があると思えます。しかし、この改めなければならぬ背景を考えると、最も最終的にたどりつくところは、自分自身の心の弱さだと思えます。学習の悩み、人間関係の悩み、将来に希望がもてないなど、いつか逃げてばかりいられたら、人間に生まれたいからには、それをのりこえる努力をすることが大切ではないでしょうか。暴走族と呼ばれる若者の皆さん。同世代である、あ

の裏には、どんなに多くの苦しみや悲しみがあつたことでしょうか。自分に甘え、世間に甘え、苦しむこと、耐えることを忘れて何が若者でしょうか。マスコミが悪い、大人が悪いと逃げばかりしても何の解決にもなりません。逃げた気がありません。逃げた気がありません。また、友人の悪を見て見ぬふりをする私達自身も、自分のなさに原因があると思えます。しかし、この改めなければならぬ背景を考えると、最も最終的にたどりつくところは、自分自身の心の弱さだと思えます。学習の悩み、人間関係の悩み、将来に希望がもてないなど、いつか逃げてばかりいられたら、人間に生まれたいからには、それをのりこえる努力をすることが大切ではないでしょうか。暴走族と呼ばれる若者の皆さん。同世代である、あ

★全車種（大型・普通・自二・けん引・大特・第二種免許）の免許の取得ができます。  
★早朝・夕方・日曜その他あなたの生活条件に合わせた教習が受けられます。  
★ご希望により送迎もいたします。

財団法人  
山梨県交通安全協会経営

公認 **山梨自動車学校**

中巨摩郡八田村野牛島1828  
TEL (0552) 85-0752



